

社会【小5】指導カリキュラム

指導ユニット・『指導語彙・表現』

テキスト，プリント



社会【小5】4月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
<p>1 わたしたちの国土 1 世界の中の国土</p>	<p>★世界の主な大陸や海洋, 主な国の名称と位置, 我が国の位置や領土を理解するとともに, 世界の主な大陸や海洋, 主な国と我が国との位置関係, 我が国や他国の国旗の大切さを考えようとする。</p> <p>【用語】 地球儀[ちきゅうぎ] 地図帳 緯度[いど]と経度 経線(たての線), 緯線[いせん](横の線) グリニッジ天文台 北極 南極 ユーラシア大陸 南・北アメリカ大陸 アフリカ大陸 オーストラリア大陸 太平洋 大西洋 インド洋 北半球 南半球 東半球 西半球</p> <p>『北半球』 イギリス フランス ドイツ カナダ アメリカ合衆国[がっしゅうこく] エジプト</p> <p>『南半球』 サウジアラビア 南アフリカ共和国 中華人民共和国[ちゅうかじんみんきょうわこく] オーストラリア ニュージーランド アルゼンチン ブラジル</p> <p>『日本のまわりのある国々』 モンゴル国 ロシア連邦[れんぽう] 朝鮮[ちようせん]民主主義人民共和国 大韓民国[だいかんみんこく] 中華人民共和国[ちゅうかじんみんきょうわこく] ベトナム社会主義共和国 フィリピン共和国</p> <p>【用語】 西のはしー与那国島[よなぐにじま] 南のはしー沖ノ鳥島[おきのとりしま] 東のはしー南鳥島 北のはしー択捉島[えとろふとう]</p> <p>『領土』 その国のもつ陸地と, 陸地に囲まれた湖や川などを合わせて領土といいます。また, 海岸から12海里(約22km)までの海は, 領海とよばれます。</p> <p>『国旗』 日本の国旗, 日の丸は, 日章旗といわれ, 白地に太陽が赤くかがやいている様子を表しています。大韓民国[だいかんみんこく]の国旗は, 古くから信じられ, 大切にされている教えを図に表したもので, まん中の円は宇宙[うちゅう]を表しています。どの国の国旗にもそれぞれ大切な意味や由来があり, 自国はもちろん, ほかの国の国旗も大切にすることが必要です。</p>

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト

→ ② プリント(問題)

→ ③ テスト

→ ④ 評価

→ ⑤ 課題

わが国の気候の特色

- 北海道**
1年じゅう低温少雨で、冬は特に気温が低い。
- 日本海側**
雪のために、冬に降水量が多い。
- 太平洋側**
夏は雨が多くむし暑い。冬は降水量が少ない。
- 中央高地**
1年じゅう少雨で、気温の変化が大きい。
- 瀬戸内**
1年じゅう少雨で、わりあい温暖。
- 南西諸島**
1年じゅう温暖で、多雨。



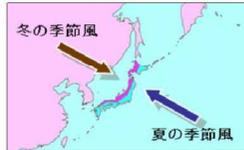
※ 資料 社会科テキスト 小51学期 4月 わたしたちの国土①②

-28-

季節風

気候は、地形・海流・季節風などにえきょうされる。特に、**季節風**は、太平洋側と日本海側の気候を大きくかえている。

◆冬の季節風……大陸から、つめたいかわいた風がふいてきます。この風は日本海の上空で多くの水分をふくみ、しめった風となって、奥羽山脈や中央高地の山々にぶつかります。そして日本海側に雪をふらせ、かわいた風となって、太平洋側にふいてきます。

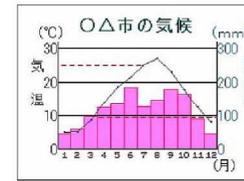


◆夏の季節風……夏には逆に、太平洋のほうからあたたかいしめった風がふき、太平洋側に雨をふらせませす。山地をこえた日本海側では、かわいた風になります。

※ 資料 社会科テキスト 小51学期 4月 わたしたちの国土①②

-38-

気候のグラフのよみ方



ある土地の気候をあらわすには、ふつう、左のように、ひとつのグラフに気温と降水量をいっしょにかきこんだグラフを使います。

- ・気温は……紫の折れ線グラフ
- ・目盛りは、左の黒い数字
- ・降水量は……ピンクのぼうグラフ
- ・目盛りは、右の青い数字

※この気温は、ひと月の平均の気温です。←
※降水量……ひと月にふった雨の合計の量。気しょう台の雨量計ではかってはいます。

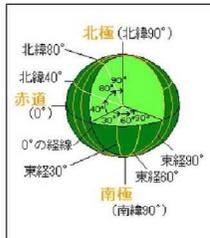
- ・○△市の7月の気温は、→20℃と30℃の、ちょうどまん中なので、約25℃
- ・○△市の3月の降水量は、→ほぼ100mmの所なので、約100mm

※ 資料 社会科テキスト 小51学期 4月 わたしたちの国土①②

-48-

緯度と経度

緯度
赤道に平行な線(緯線)で表します。赤道を0度とし、北へ90度に分けて**北緯**、南に90度に分けて**南緯**としています。



経度
北極と南極を結ぶ線(経線)で表します。イギリスの旧グリニッジ天文台を通る経線を0度とし、東へ180度に分けて**東経**、西に180度に分けて**西経**としています。

※ 資料 社会科テキスト 小51学期 4月 わたしたちの国土①②

-58-

わが国のまわりの国々

- ア ロシア連邦
- イ 中華人民共和国 (中国)
- ウ 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮)
- エ 大韓民国 (韓国)



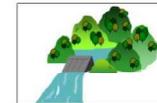
※ 資料 社会科テキスト 小51学期 4月 わたしたちの国土①②

-68-

水源かん養林

- ◆ 山地の多い日本では、山のしゃ面を、**だんだん畑**や**な田**として利用しているところもあります。
- ◆ 国土の3分の2をしめる森林の利用について、考えてみましょう。
 - ・木材や、くり・きのこのなどの**林産物**をえる。
 - ・鳥や動物のすみかになる。
 - ・空気をきれいにする。
 - ・自然の災害をふせぐ。

- 大水をふせぎ水源地を守る (水源かん養林)
- 大風をふせぐ (防風林)
- 土砂くずれをふせぐ



- ◆ このような森林を、**保安林**として国が守っています。

※ 資料 社会科テキスト 小51学期 4月 わたしたちの国土①②

-88-

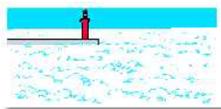


社会【小5】5月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

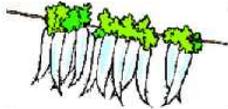
ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
<p>1 わたしたちの国土 2 国土の地形の特色と人々の暮らし</p>	<p>★我が国の国土の地形の概要や地形条件から見て特色のある地域の人々の暮らしを理解するとともに、地形条件と人々の暮らしや産業とのかかわりを考えようとする。</p> <p>『地形の分類』 山脈 山地 高地 高原 盆地[ぼんち] 台地 平野 火山の国 日本 低地の暮らし あたたかい土地の暮らし 山地の暮らし 高原の暮らし 寒い土地の暮らし 雪国の暮らし</p> <p>【用語】 かまくら 流雪こう 雪おろし 【用語】 アイヌ 【用語】 水屋 排水機[はいすいき]場</p> <p>『輪中』 輪中の「輪」は、土地を囲むていぼうの形だけではなく、水害から暮らしを守るための人々のつながりも表しているといわれています。</p> <p>『治水』 川の流れや水路などを改良して水害を防ぎ、水を暮らしや産業に利用できるようにすることを、治水といいます。</p> <p>『自然条件』 人々の暮らしは、地形気候などの自然条件と深くかかわっています。自然条件とのつながりに目を向けると、暮らしのくふうや特色が見えてきます。</p>



し 首里じまGIF



り 流氷GIF



た 大根ほし.JPG



サ サングGIF



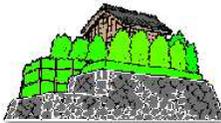
ま 曲がり家GIF



ヒ ヒムクリGIF



パ バイナツルGIF



み 水つかGIF



め めがね橋GIF



み 水屋GIF



な 菜の花畑GIF



が 合しよづりGIF

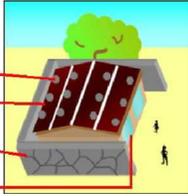
【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト

→ ② プリント(問題) → ③ テスト → ④ 評価 → ⑤ 課題

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

あたたかい地方の家のつくり

- ・ 沖縄の自然とは
 ... 年中あたたかく(日差しが強く)、雨が多く、台風も多い気候です。
- ・ そこで、沖縄の家は、風通しをよくして家の中をすずしくし、しかも、台風でこわされることのないようなつくりになっています。
- ◆ 台風でこわれないためのくふう
 - ・ 屋根のかをらをしっかりと固めたり、屋根に石をおいて、どばないようにする。
 - ・ 屋根をひくくして風をよける。
 - ・ 家を石がきで囲み、強い風から守る。
- ◆ 暑さをふせぐためのくふう
 - ・ 戸を大きく開き、風通しをよくする。



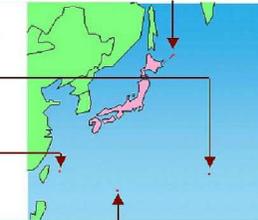
※ 資料 社会科テキスト 小51学期 5月 わたしたちの国と② 図

- 15 -

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

わが国のはん囲

- 北のはし……択捉島
 (北緯45度33分)
 ※今はロシア連邦が占領中
- 東のはし……南鳥島
 (東経153度59分)
 ※じつは、ここは東京都
- 西のはし……与那国島
 (東経122度56分)
 ※ここは沖縄県
- 南のはし……沖ノ鳥島
 (北緯20度25分)
 ※なんと、ここも東京都



※ 資料 社会科テキスト 小51学期 5月 わたしたちの国と② 図

- 45 -

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

どう雪地帯の家

- ※ 雪の重みにつぶされないように、太い柱が使われている。
- ※ 屋根の雪がだいたい50cmくらいつもると、雪おろしをする。

あかりまど
 雪でとざされたとき、外の光を取りこむためのまど。



雪止め
 雪がすべり落ちて、下を歩いている人がけがをしないよう、雪がすべるのをふせぐもの。最近では、中に電線を入れてあたため、雪をとくすしかけのものもある。

雪がこい
 家のかべを雪から守るため、板や木をたてかけたもの。

ほりごたつ
 ゆかの下にほって、中に炭などをを入れてあたためるごたつ。最近は少なくなった。

がん木
 屋根のひさしを長くのばし、人が通れるようにしたもの。

※ 資料 社会科テキスト 小51学期 5月 わたしたちの国と② 図

- 25 -

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

北方りょう土

- ★ 右の地図の [] が、今はロシア連邦が占領している4島で、日本は「北方りょう土」とよんでいます。
- 日本は、ロシアに、4島を早く返してほしいと、強くもどめています。
- 旧ソ連(ロシア)が4島を占領したのは太平洋戦争の時でした。



※ 資料 社会科テキスト 小51学期 5月 わたしたちの国と② 図

- 55 -

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

雪や交通を守るくふうや仕事

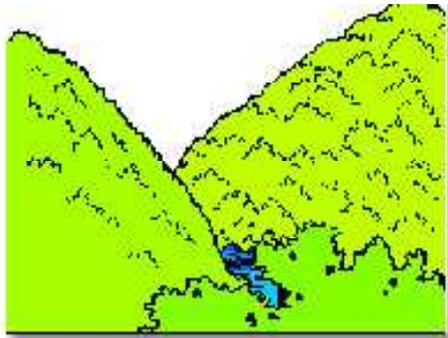
- ア 雪から道路を守る
 - ・ 雪かき
 人々は、家の前につもった雪を、シャベルなどでかたづけます。広い道路では、県や市のブルドーザーが雪をとりはらいます。とりのけた雪は、池や川にすてたり、流雪こうやあき地にすてたりします。
 - ・ 消雪パイプ・ロードヒーター
 車の通る量が多い道路では、道路に、地下水がふき出すパイプや、熱が出る電線をうめこんで、雪をとかしています。
- イ 雪から鉄道を守る
 - ・ 雪よけトンネル・防風林・ほう雪さくや、ラッセル車・ロータリー車で雪から鉄道を守ります。

※ 資料 社会科テキスト 小51学期 5月 わたしたちの国と② 図

- 35 -

社会【小5】6月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
<p>1 わたしたちの国土 3 国土の気候の特色と人々の暮らし</p> 	<p>★我が国の国土の気候の概要や気候条件から見て特色のある地域の人々の暮らしを理解するとともに、気候条件と人々の暮らしや産業とのかかわりを考えようとする。</p> <p>『つゆと台風』 6月の中ごろから7月にかけて、日本列島の大部分は雨雲におおわれ、いく日も雨がふり続きます。これがつゆです。また、夏から秋にかけて、日本は台風におそわれ、強い風とたくさんの雨で各地に大きな被害[ひがい]が出ます。しかし、つゆや台風の雨は、農業用水や飲料水の確保には欠かせないものになっています。</p> <p>『台風』 沖縄県[おきなわけん]には、太平洋の赤道付近で生まれ、発達した台風が来ます。電柱がたおれて停電になったり、作物がだめになったりするなどの被害[ひがい]が出る場合があります。</p> <p>『促成[そくせい]栽培[さいばい]・抑制[よくせい]栽培[さいばい]』 しゅんの時期とずらした時期に出荷[しゅっか]して、よりよいねだんで売ることをめざして行います。沖縄県[おきなわけん]はあたたかく、促成[そくせい]栽培[さいばい]や抑制[よくせい]栽培[さいばい]に向いています。</p> <p>『文化』 地域[ちいき]の暮らしの中で、わたしたちの祖先が長い時間をかけてつくりあげた習慣や暮らし方もの見方などのことです。伝統的な行事や言葉、衣食住なども文化です。</p>



【指導の流れ】 ① 語彙・表現・テキスト

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

わが国の地形

1 山地・山脈

- 日本は山地が多く、国土の4分の3は山地です。
- けいしゃが急でけわしく、海岸までせまっている山地が多くなっています。
- 山地が細長くつらな山脈がいくすじもあり、とくに、中部地方の中央部には、3000m級の山脈が集まっています。

2 火山・火山帯

- 日本列島は、環太平洋火山帯（太平洋をとりかこむ大きな火山帯）の一部です。
- 火山が多く、7つの火山帯があります。

3 森林

- 日本の山地は、たいいてい森林におおわれていて、国土の3分の2は森林です。

※ 教科 社会テキスト 小51学期 6月 わたしたちの国土② 図

- 115 -

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

わが国の川と平地

1 川

- 日本の川の多くは、国土にたてにつらなる山々をさかいて、太平洋側と日本海側に流れています。
- 山地が海岸までせまっているため、大部分の川は短く、流れが急です。

2 平野

- 海沿いに分布しています。
- 主な平野は、たいいてい大きな川の下流にひろがっていますが、面積はあまり広くありません。

3 盆地

- 山地にかこまれた平野で、中央高地にとくに多くあります。

4 台地

- 山地よりは低く、平野よりは高い平地で、九州南部や関東地方に分布しています。

※ 教科 社会テキスト 小51学期 6月 わたしたちの国土② 図

- 415 -

→ ② プリント(問題) → ③ テスト → ④ 評価 → ⑤ 課題

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

日本アルプス

- 「日本の屋根」といわれる本州中央部の3つの山脈は、それぞれ、北アルプス・中央アルプス・南アルプスとよばれ、合わせて「日本アルプス」とよばれています。

- 北アルプス……飛騨山脈 (3190mの穂高岳など)
- 中央アルプス……木曾山脈 (2956 mの駒ヶ岳など)
- 南アルプス……赤石山脈 (3192mの白根山〈北岳〉など)



- 霧島火山帯にふくまれる阿蘇山は、世界一大きいカルデラ〈火山の中央部にできたくぼ地〉をもつ火山です。

※ 教科 社会テキスト 小51学期 6月 わたしたちの国土② 図

- 215 -

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

川と平地の利用

川の利用

- 水力発電
- 用水
 - 飲料水
 - 農業用水 (かんがい)
 - 工業用水
- 養しよく (あゆ・ますの放流)
- 観光

平地の利用

- 田や畑などの農地
- 住たく地
- 工業用地



※ 教科 社会テキスト 小51学期 6月 わたしたちの国土② 図

- 515 -

習得市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

地形を表すことば

扇状地

川が山地から平地に出るところに、土砂などが扇の形につもった土地。

三角州

河口に、上流から運ばれた土砂などがつもった土地。

水郷

川の下流の三角州で見られる、土地が低く水はけの悪い地いき。

輪中

川底よりも土地が低いので、高い堤防で大水の害をふさいでいる地いき。



※ 教科 社会テキスト 小51学期 6月 わたしたちの国土② 図

- 315 -

社会【小5】7月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
<p>2 わたしたちの生活と食料生産</p> <p>1 米づくりのさかなな庄[しょう]内平野</p>  <p>い いねがり.GIF</p>  <p>コ コンバイン.GIF</p>  <p>た 田植え.GIF</p>	<p>★我が国の米の生産が国民の食料を確保する重要な役割を果たして国民の食生活を支えていること、米の生産は自然環境と深いかかわりをもって営まれていることや、米の生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解し、国民生活を支える米の生産の発展について考えようとする。</p> <p>『米, 稲[いね], 水田』 米は稲[いね]の実です。日本で育てられる稲[いね]は、多くの水を必要とする品種が多いです。この品種の稲[いね]を水稲[すいとう]とよびます。</p> <p>『%』 - 「パーセント」と読みます。1%は100分の1を表します。</p> <p>『耕地』 田と畑と牧場を合わせて耕地といいます。</p> <p>『ほ場整備』 せまい田を集めて広くして、田のかたちを整えたり、用水路や排水路[はいすいろ]農道などを整備したりすることです。</p> <p>『季節風』 季節によって風向きがちがうことで、さまざまな気候の変化をもたらします。豊かな雪解け水や「宝[たから]の風」は、季節風による自然のめぐみといえます。</p> <p>『土地利用図』 土地がどのような使われ方をしているかを表した地図のことです。土地利用図を見ると、その地域[ちいき]のくらしや産業の様子がわかります。</p> <p>『専業[せんぎよう]農家』 農業以外で働いている家族がだれもない農家のことです。農業以外で働いている人がいる農家を兼業[けんぎよう]農家とよびます。</p> <p>『ビニールハウス』</p> <p>『稲[いね]の生長と米づくりの様子』 3月 種もみを選ぶ 4月 たい肥をまく 田おこし 代かき[しろかき] 5月 田植え 6月 生育調査(稲[いね]の生長を調べる) 7月 農薬散布(農薬をまく) 8月 穂[ほ]が出る</p>

9月 稲かり[いねかり] だっこく かんそう もみすり 10月 たい肥づくり

『共同作業』

例えば、農薬をそれぞれの農家が自分の田だけまこうとすると、農薬をまく機械を全て[すべて]の農家が持たなくてはいけないなど、効率がよくありません。ですから、共同で機械を持つほうがよいのです。

『農業協同組合(J A)』

J Aは農家を中心とした集まりです。地域[ちいき]全体のさいばい計画を立てたり、技術の指導をしたり、農機具や肥料の販売[はんばい]をしたりします。

『品種改良』

いろいろな品種のよいところを集めて、新しい品種をつくり出すことです。大きな実のなる果物や、成長の早い家畜[かちく]などを人工的につくり出すこともできますが、健康へのえいきょうを心配する声もあります。

『食料基地』

食料の生産が多く、全国に食料を送り出しているところを食料基地といいます。北海道、東北、北陸地方は、日本の代表的な食料基地です。

『生産調整』

水田を減らして生産量をおさえる政策[せいさく]のことで、1969(昭和44)年に始まりました。米以外の作物を育てる「転作」がうまく進まない、水田があれたままになることもあります。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ②プリント(問題) → ③テスト → ④評価 → ⑤課題

愛知県日本語・ポルトガル語通訳指導教室

わが国の農業の特色

1 米作り中心

米は日本人の主食で、大昔から大切な食糧として作られてきました。また、米作りは、国からも保護されています。



2 食生活の変化

ごはんにかわってパンが多く食べられるようになり、肉類も食べられるようになりました。そのため、外国からの小麦の輸入がふえ、たまごや肉などの畜産物の生産もふえてきました。



3 きぼが小さい

日本の農家は1戸あたりの耕地面積がせまく、農業だけで生活がなれたつ農家が少ないため、農業以外の仕事もする人や、農業をやめていく人が多くなっています。

※ 資料 社説テキスト 小51第期 7月 わたしたちの農業と食料生産②.pdf

- 111 -

愛知県日本語・ポルトガル語通訳指導教室

畑作の農業



畑作のさかんな地方

1 野菜の生産

大きな消費地となっている、大都市の近郊でさかんです。また、気候を利用した早作りやおそ作りも行われています。

2 小麦の生産

大部分は輸入にたよっています。

3 くだものの生産

あたたかい地方でみかん、すずしい地方でりんご、山梨県でぶどうなどが、栽培されています。



※ 資料 社説テキスト 小51第期 7月 わたしたちの農業と食料生産②.pdf

- 611 -

愛知県日本語・ポルトガル語通訳指導教室

これからの食糧生産(1)

- ★ わが国の田や畑の耕地面積は年々少なくなってきている。
- ★ わが国の魚の生産量は年々少なくなってきている。
- ★ わが国の食料自給率は年々低くなってきている。

田と畑の耕地面積の推移 (単位千ha)

	田	畑	総計
1985年	2952	2427	5379
1990	2846	2397	5243
1995	2745	2293	5038
2000	2641	2189	4830
2004	2575	2139	4714

農林統計速報による

<1ha (ヘクタール)>=10000m²

魚の生産量の推移 (単位千t)

	生産量(千t)
1980年	11122
1990	11052
2000	6384
2008	6083

農林水産省「漁業・畜産物生産統計年報」(2009年)による

<1t (トン)>=1000kg

※ 資料 社説テキスト 小51第期 7月 わたしたちの農業と食料生産②.pdf

- 1011 -

社会【小5】9月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
<p>2 わたしたちの生活と食料生産</p> <p>2 水産業のさかんな静岡県[しずおかけん]</p>	<p>★我が国の水産業に関心をもち、水産業が自然環境を生かして営まれ国民の食生活を支えていることや、水産物には外国から輸入しているものがあること、主な漁場の分布、水産業に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きなどを理解するとともに、国民生活を支える水産業の発展について考えようとする。</p> <p>【用語】 水産業 漁港 水あげ量 一本づり まきあみ漁 漁業協同組合 養しよく さいばい漁業 稚魚[ちぎょ] 放流 消費地 市場 せり</p> <p>『漁業の分類』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠洋漁業—遠くの海に出かけて、長い期間にわたって行われる漁業。 ・沖合漁業[おきあいぎょぎょう]—10t以上の船を使って、数日ばかりで行われる漁業。 ・沿岸[えんがん]漁業—10t未満の船を使って行う漁や、定置あみ、地引きあみ漁業のこと。養しよく業もその一つ。 <p>『水産加工団地』</p> <p>40年ほど前、加工工場からにおいやごみが出るという苦情が多くよせられ、それを防ぐことも団地がつけられた理由のひとつです。ごみや、あらったあとの水などを共同で処理[しより]する施設[しせつ]もつくられています。</p> <p>『200海里』</p> <p>1977(昭和52)年ころから、沿岸[えんがん]から200海里(約370km)の海は、外国の船がとる魚の量がきびしく制限されました。そのかわり、自国は資源[しげん]の管理や水のよごれの防止が求められます。</p> <p>『トレーサビリティ』</p> <p>どこで、どんなえさを食べさせて、どんな薬を飲ませたかきちんと記録して明らかにしています。つくる人は自信をもって出荷[しゅっか]できますし、買う人は安心できます。</p> <p>『トラック輸送』</p> <p>魚は、生きているほうが高く買ってもらえるので、いけすに酸素を入れられるようにくふうしている輸送用トラックもあります。</p> <p>『持続可能な開発』</p> <p>資源[しげん]をほどよく使い、環境[かんきょう]を守ることで、今の世代も満足してすごし、</p>

次の世代も満足してすごせるような開発をしていこうという考え方のことです。

『魚つき保安林』

魚が海岸近くにある定置網[ていちあみ]までくるように育てた林です。土砂[どしゃ]の流出を防ぐ、風を防いで波立たせない、明かりを水面に当てない、という役わりがあります。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト

→ ② プリント(問題)

→ ③ テスト

→ ④ 評価

→ ⑤ 課題

宮崎市日本語・ポルトガル語通訳指導教室

わが国の水産業の特色

1 めぐまれた漁場

日本の近海に、**暖流**と**寒流**が流れていて、魚の種類にめぐまれている。また、近海に広がる**大陸だな**は、魚がたまごをうむのによいところである。このため、**水産業がさかんだ**。



2 漁かく量が多い

日本人は、他の国々くらべて魚介類をよく食べる国民で、**漁かく量は世界第4位**(2001年)である。しかし、**二百カイリ問題**で漁場がへるなどして、**輸入額が年々増えている**。

3 漁業ばなれ

きばのちいさい漁家が多く、**収入が不安定**なため、**漁業人口が年々へっている**。特に、仕事をつくわかい人が不足している。

※ 資料 社会科テキスト 小51学期 9月わたしたちの生活と食料生産② 86

- 10 -

宮崎市日本語・ポルトガル語通訳指導教室

いろいろな漁業

1 とる漁業

沿岸漁業

海岸近くの海で、10t未満の船を使って主に日網りで漁を行う。近年、**漁かく量がのびやんでいる**。

沖合漁業

10t以上の船を使って海岸から数十キロの沖へ出て、数日間かけて漁を行う。**漁かく量は全体の約40%になる**。

遠洋漁業

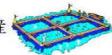
大型船で遠くの外へ出かけ、数十日から数か月かけて漁を行う。近年、漁業条約などのため、**漁かく量がへっている**。

* 漁法

定置あみなどの**あみを用いる漁法**と、一本づりなどの**さおを用いる漁法**などがある。

2 育てる漁業

日本の沿岸では魚がへってきたため、人間の手で水産物を育て、**ふやしながらとる漁業**が行われている。



※ 資料 社会科テキスト 小51学期 9月わたしたちの生活と食料生産② 86

- 23 -

宮崎市日本語・ポルトガル語通訳指導教室

いろいろな漁業の問題点

・ 遠洋漁業

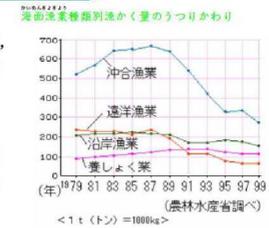
外国の海で活やくしてきましたが、**二百カイリ問題**で漁場がせばまるなどで、**ふるわなくなりました**。

・ 沖合漁業

もっともさかんですが、**魚のとりすぎ**や**海流の変化**などのため、**とれ高がへる**ことがあります。

・ 沿岸漁業

工業用地のための**うめたて**などにより、漁場が年々せまくなっています。また、**沿岸のよごれ**も進んでいて、**漁業が行いにくくな**っています。



※ 資料 社会科テキスト 小51学期 9月わたしたちの生活と食料生産② 86

- 33 -



社会【小5】10月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
<p>2 わたしたちの生活と食料生産 3 これからの食料生産とわたしたち</p>	<p>★我が国の食料生産には、働く人の減少、環境への影響、安全性、低自給率などの問題点があることを理解し、安心・安全な食料確保のための食料生産のあり方を考えようとする。</p> <p>【用語】 日本産の生産者価格と外国産の輸入価格 消費者 産地 耕作 耕作放棄[ほうき]地(何年も耕作していない田畑)</p> <p>『食料自給率』 わたしたちが、食べる食料のうち、国内で生産されているわりあいを示したもので、重さや熱量(カロリー)、生産額からみるものがあります。</p> <p>『地産地消』 遠いところから食料を運んでくるよりも、なるべく住んでいる土地のそばでとられた食料を使うのが望ましいという考え方にもとづいて、地産地消の動きは進められています。</p> <p>『環境[かんきょう]保全』 環境[かんきょう]を保護して、人間や動物などが生活しやすいようにすることです。品質のよい食料を生産するためには、水や土などがよい環境[かんきょう]であることが必要です。</p>
<p>3 わたしたちの生活と工業生産 1 自動車をつくる工業</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>と 産業用ロボットGIF</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>じ 自動車工場GIF</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>て 点検GIF</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>と とそうGIF</p> </div> </div>	<p>★自動車をつくる工業をとおして、我が国の工業生産について意欲的に調べ、従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働きを理解するとともに、国民生活を支える我が国の工業生産の発展について考えようとする。</p> <p>『工業』 工業とは、ものに道具や機械を使って手を加え、形や性質を変えて人の役に立つものをつくる産業のことです。つくられた製品によって、いくつかの種類に分類できます。</p> <p>『工業製品』 原材料 → 機械, 金属, 食品, 石油化学, せんい</p> <p>『自動車づくりー組み立て工場』 ・プレス → ようせつ → とそう → 『組み立てライン』 → 『検査』</p> <p>『組み立てライン』 一定のはやきで進むラインの上で、作業を分たんすることで、正確に自動車が組み立てられます。</p> <p>『組み立て工場』</p>

自動車をつくる工業

- ★ わが国は、自動車保有台数も生産台数も世界の1、2位を競っている。
- ★ 自動車工場では自動車ができるまで
 - ・ プレス … 機械で鉄板を打ちめいたり折り曲げたりして、車体の部品をつくる。
 - ・ ようせつ … ロボットが車体の部品をつなぎ合わせて、形に仕上げる。
 - ・ どそう … さまざまな色にぬり分ける。さびないようになり返してぬる。
 - ・ 組み立て … 車体にエンジンやエンジン、ガラスなどの部品を取りつける。
 - ・ 検査 … プレーキのきき具合や排出ガスのようなものを調べる。
 - ・ 出荷 … 検査に合格した自動車を各地に出荷する。



四大工業地帯

1. 京浜工業地帯
 - ・ 東京・横浜・川崎を中心に、古くから発達。
 - ・ 機械工業中心。出版・印刷業もさかん。
2. 阪神工業地帯
 - ・ 大阪・神戸を中心に、古くから商工業が発達。
 - ・ 鉄・鋼などで重化学工業やせんい工業がさかん。
3. 中京工業地帯
 - ・ 名古屋を中心に、織物や三重車に発達。
 - ・ 四大工業地帯の中で、設備が1位。
 - ・ 自動車工業を中心とした機械工業がさかん。
 - ・ せんい工業やどうじ器工業が、古くから発達。
4. 北九州工業地帯
 - ・ 1901年に作られた「臨海工業地帯」を中心に発達。
 - ・ 鉄鋼業中心の重化学工業、食品工業もさかん。



工業の種類

- 重化学工業
 - ・ 機械工業…自動車工業・造船業など
 - ・ 金属工業…鉄鋼業・アルミニウム工業など
 - ・ 化学工業…石油化学工業・ソーダ工業など
- 軽工業
 - ・ 食品工業
 - ・ せんい工業
 - ・ 製紙工業・よう菓など



日本では、重化学工業に力を注いでいて、特に、自動車工業や造船業などが代表的な工業です。

自動車は、細かいねじなども合わせて約3万個の部品からできていて、組み立て工場では、エンジンなどのある程度まとまった部品を組み立てます。

『関連工場』
自動車に必要な部品をつかって組み立て工場におさめています。組み立て工場は、必要なときに必要な量だけ部品を注文するので、余分な部品をもたずにすみますが、一つの関連工場の生産が止まってしまうだけで自動車の組み立てができないおそれがあります。

『部品の流れ』
・ 小さな部品をつくる工場 → 小さな部品をつくる工場 → 部品をつくる工場 → 組み立て工場

『トラック輸送』
自動車の輸送に用いられるキャリアカーは、1台の車をのせるタイプから8台ほどを積むものがあります。

『ニーズ』
人が何かをしたいと思うことで、自動車の場合、乗りやすい、人を多く乗せたいなど、さまざまです。

『社会や消費者のニーズ』
社会や消費者のニーズは変わり続けています。新しい車を開発するときに、社会や消費者のニーズに合った車をつくる努力をしています。

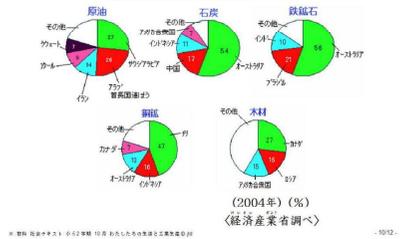
『環境[かんきょう]にやさしい自動車』
排出[はいしゅつ]ガスが大気おせんや地球温暖化[おんだんか]の原因
・ ハイブリッドカー 燃料電池自動車 電気自動車

『自動車のリサイクル』
自動車会社と消費者が協力して、自動車のリサイクルを積極的に進めるための法律[ほうりつ]が定められました。現在、自動車の部品の90%以上がリサイクルされています。

いろいろな工業

1. 工業の分け方
 - ・ 製品の重さから
 - 機械・金属工業を重工業とし、重工業と化学工業のほかは軽工業とします。
 - ・ 製品の種類から
 - 機械・金属・化学・せんい・食品工業・よう菓などがあり、さらに細かく分けると、自動車・造船・鉄鋼などの工業があります。
2. 工業のさかんな所
 - ① 大消費地となる、大都市に近いところ。
 - ② 鉄道や道路などが発達して、交通の便のよいところ。
 - ③ 原料や動力の得やすい、海に面したところ（鉄鋼やコンビナートなど）。

わが国のおもな資源の産出先



【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ②プリント(問題) → ③テスト → ④評価 → ⑤課題

社会【小5】11月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』	S3 中級 S4 上級
<p>3 わたしたちの生活と 工業生産 2 工業生産と工業地域</p>	<p>★我が国の工業生産と工業地域の様子に関心をもち、進んで調べることを通して、各種の工業生産や工業地域の分布、工業を支える運輸などの働き、各種の工業生産がすぐれた技術を開発・伝承しながら営まれて国民生活を支えていることを理解する。</p> <p>『工業地域[ちいき]』 多くの工場が集まり、工業生産がさかんな地域[ちいき]を工業地域[ちいき]といいます。その中でも特に帯のようにつながっているところを工業地帯といいます。 「太平洋ベルト」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中京工業地帯(愛知県, 三重県) ・京浜[けいひん]工業地帯(東京都, 神奈川県[かながわけん]) ・阪神[はんしん]工業地帯(大阪府[おおさかふ], 兵庫県) ・東海工業地域[ちいき](静岡県[しずおかけん]) ・京葉[けいよう]工業地域[ちいき](千葉県) ・関東内陸工業地域[ちいき](栃木[とちぎ]・群馬・埼玉県[さいたまけん]) ・北陸工業地域[ちいき](新潟[にいがた]・富山・石川・福井県[ふくいけん]) ・瀬戸内[せとうち]工業地域[ちいき](岡山[おかやま]・広島・山口・香川[かがわ]・愛媛県[えひめけん]) ・北九州工業地域[ちいき](福岡県[ふくおかけん]) <p>『中小工場』 従業員[じゅうぎょういん]が300人未満の工場のことです。たのまれたらすばやくものがつくれることや、高い技術のものを少しだけつくれることなど、大工場にはないよさがあります。</p> <p>『物流』 生産されたものが、決められた時間、決められた場所に相手にとどくしくみのことです。運ぶ仕事だけではなく、保管や運ぶ準備作業などもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックによる輸送(トラックターミナル) ・飛行機による輸送 ・貨物列車による輸送 ・貨物船による輸送 	
<p>3 わたしたちの生活と 工業生産 3 工業生産と貿易</p>	<p>★我が国の工業生産における原材料や製品の貿易の様子に関心をもち、進んで調べることを通して、工業生産や国民生活を支える我が国の貿易の特色や役割を理解するとともに、その課題や発展について考えようとする。</p> <p>『貿易』 国どうしの商品の売買のことです。 『輸入』</p>	

商品を外国から買うことです。

『輸出』

商品を外国に売ることです。

『加工貿易』

昭和30年代輸入額が増え、日本の経済[けいざい]が大きく成長したのは、外国から原料を輸入し、すぐれた技術で加工して外国に安く売ることができたからなのです。

『自由な貿易』

自由な貿易によって、より多くのものが行きかうことで、貿易の相手どうしがより豊かになることが望まれます。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ②プリント(問題) → ③テスト → ④評価 → ⑤課題

わが国の国内輸送の特色

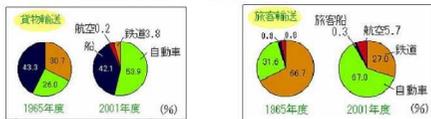
1 貨物輸送

鉄道輸送のわりあいがあり、自動車輸送が大はばにのび、船による輸送はあまり変わらない。

2 旅客輸送

航空輸送が大はばにのび、鉄道輸送と自動車輸送のわりあいがある。

→世の中が自動車社会へと変化



(国土交通省調べ)

※ 資料 社会科テキスト 小52学期 11月 わたしたちの生活と工業生産 © 日教組

たぐい値が大きくなる理由

① 速いから

あずかった荷物は、日本国内ならば翌日か、おそくとも2日までは、受け取り人のもとにとどく。

② 安いから

料金が安く、取りあつかい店まで荷物を持っていけば、さらに安くなる。

③ 確かだから

あずかった荷物をコンピュータを使って管理している。

④ サービスがよいから

会社や家庭まで荷物をとりに来てくれるし、送り主が、受け取り人のもとに荷物がとどく日を指定できる。

⑤ かんたんだから

かんたんに荷づくりやあて名書きができる。

※ 資料 社会科テキスト 小52学期 11月 わたしたちの生活と工業生産 © 日教組

わが国の貿易の特色

1 加工貿易

日本は工業原料となる資源にめぐまれないので、外国から原料を輸入し、それを、日本の工業技術で加工して、外国へ製品を輸出する加工貿易がさかんである。しかし、最近では、機械類などの製品の輸入もふえている。

2 おもな輸入品

原料・燃料、機械類、食品など

3 おもな輸出品

機械類などの工業製品

4 貿易の相手先

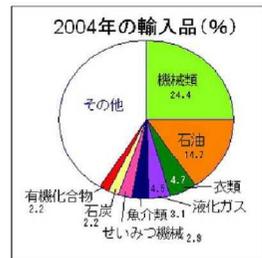
アジアの国々と地いき、アメリカ合衆国がおもな相手先

5 貿易問題

日本の輸出が輸入より多くて、つりあいが悪い。

※ 資料 社会科テキスト 小52学期 11月 わたしたちの生活と工業生産 © 日教組

わが国の輸入品の持ちよう



(日本関税協会「外国貿易概況」)

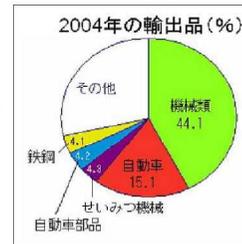
- 工業の原料や燃料が多い。
(例) 石油、液化ガス
- 機械類のしめるわりあいも大きい。
- 魚介類を中心に食品も多い。



※ 資料 社会科テキスト 小52学期 11月 わたしたちの生活と工業生産 © 日教組

わが国の輸出品の持ちよう

- 輸入した原料を加工した工業製品が多い。
(例) 機械類、せいみつ機械、自動車、自動車部品、鉄鋼
- 輸出品の中心が、鉄鋼や船舶から、コンピュータを主とする機械類や自動車にうつってきている。



(日本関税協会「外国貿易概況」)

※ 資料 社会科テキスト 小52学期 11月 わたしたちの生活と工業生産 © 日教組

わが国のおもな輸出相手先

相手先	割合 (%)	主な輸出品
アメリカ合衆国	22.4	機械類、自動車、自動車部品
中国	13.1	機械類、鉄鋼
大韓民国	7.8	機械類、鉄鋼
台湾	7.4	機械類、精密機械
ホンコン	6.3	機械類、精密機械
タイ	3.6	機械類、鉄鋼
ドイツ	3.4	機械類、自動車
シンガポール	3.2	機械類、自動車
イギリス	2.6	機械類、自動車
オランダ	2.4	機械類、精密機械

★アジアの国々と地域

(2004年) (日本関税協会「外国貿易概況」)

※ 資料 社会科テキスト 小52学期 11月 わたしたちの生活と工業生産 © 日教組

社会【小5】12月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
<p>4 情報化した社会とわたしたちの生活 1 情報産業とわたしたちのくらし</p>  <p>通信の種類</p> <p>1 文字によるもの 郵便(手紙など)、新聞、ざっし、図書、電報、ファクシミリ、 テレックス、伝言板</p> <p>2 言葉によるもの 電話、ラジオ放送</p> <p>3 映像によるもの テレビ放送</p> <p>※ けいたい電話のように、上の1~3のどれか1つには、あてはめられないものもある。</p>  <p>通信が広がる仕組み</p> <p>・ 家や学校・会社などにある電話は、ケーブルで電話会社とつながっていて、電話会社にある交換機で、かけたい所につながる。</p> <p>・ 遠い所へかける電話は、いくつかの中継い所を通して無線で送られる。</p>	<p>★放送、新聞などの情報産業と国民生活とのかかわりに関心をもって意欲的に調べ、これらの産業が国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや、情報産業を通じた情報の有効な活用が大切であることを理解するとともに、情報産業の発展について考え、情報を有効に活用しようとする。</p> <p>『情報』 あるものごとや内容についての知らせのことです。まわりから受け取る情報もあれば自分からまわりに出す情報もあります。</p> <p>『情報を伝える方法』 テレビやざっしから、電話や紙まで、さまざまな方法があります。</p> <p>『マスメディア』 情報を送る方法のことを、メディアといいます。そのなかでも、テレビや新聞などのように、同じ情報を送り手から多くの人に一度に送る方法のことをマスメディアといいます。</p> <p>・ テレビ 新聞 ラジオ ざっし インターネット</p> <p>『民間放送』 コマーシャルを放送して得られる広告(コマーシャル)料によって運営されています。</p> <p>『公共放送』 日本放送協会(NHK)は、しちょう者が払う[はらう]受信料によって運営される公共放送です。</p> <p>『地上デジタル放送』 ・ 多チャンネル きれいな映像[えいぞう] 高齢者[こうれいしや]にやさしい放送 データ放送 双方向[そうほうこう]の発信</p> <p>『双方向[そうほうこう]』 情報を伝える方向が一方向でなく、受け取る側からも発信できることをいいます。見ている側がテレビのクイズ番組に参加したり、アンケートに答えたりできるようになりました。</p> <p>『報道被害[ひがい]』 事実とちがう報道や大げさな報道によって悪者にされてしまうと、疑い[うたがい]が晴れても生活や仕事に不利益を受けたり、たいへんな心のいたみを受けたりしてしまいます。</p>
<p>4 情報化した社会とわたしたちの生活 2 社会を変える情報</p>	<p>★情報化した社会の様子に関心をもって意欲的に調べ、情報ネットワークの発達など情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることを理解する。</p>

いろいろな電話機

- 1 コードレス電話 
- 2 るすばん電話 
- 3 けいたい電話 
- 4 PHS電話 

※ 著作権フリー素材・フリー写真 12月 20日現在 12月 20日現在 12月 20日現在 12月 20日現在

『インターネット、電子メール』
 インターネットによって、世界じゅうのコンピューターをあみの目のようにつないでいます。また、インターネットを使って、相手と文章のやり取りができます。これが電子メールです。

『情報ネットワーク』
 多くの情報機器をつないで、情報のやり取りをできるようにするしくみのことです。インターネットもその一つです。受けるだけの一方通行の情報でなく、必要なときは発信もできるように、情報がつながっていることをいいます。

『電子化』
 今まで紙などに記録されていたものを、パソコン上のデータとして記録することをさします。

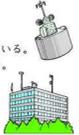
『個人情報』
 氏名、住所、生年月日、以前の記録など、その情報によって特定の人がわかってしまう情報のことです。個人情報がもれると、犯罪にまきこまれるなどの被害[ひがひ]につながるおそれがあります。

『遠隔[えんかく]医療[いりょう]』
 遠くはなれた医師と患者[かんじゃ]との間をインターネットなどでつなぎ、患者[かんじゃ]の情報を伝えて、それをもとに診断[しんだん]や指示などのり診療[しんりょう]を行うことです。

4 情報化した社会とわたしたちの生活
 3 情報を生かすわたしたち

気象情報

- 1 役わり
 - ・ 自然を相手にする 農業や水産業にたずさわっている人々には、とくに大切な情報である。
 - ・ 日常生活の中でも、参考にしてている人が多い。
- 2 放送
 - ・ 一日に何回も、とくに朝はくり返し放送される。
 - ・ コンピュータを活用して、画面をわかりやすくしている。
 - ・ 気象庁が気象データを集めて、放送局に送っている。
 - ・ 気象衛星がとらえた映像が、気象衛星センターから、放送局に送られてくる。



※ 著作権フリー素材・フリー写真 12月 20日現在 12月 20日現在 12月 20日現在 12月 20日現在

★情報化の進展には様々な利点とともに問題点もあることや、生活の中で様々な情報を有効に活用することが大切であり、情報を受け取るだけでなく送り手としても責任ある行動が望まれることを理解し、日常生活に生かそうとする。

『ダイレクトメール』
 広告を、個人あてに郵便[ゆうびん]などを使って直接送る方法のことです。

『ウェブサイト』
 インターネットを通して、さまざまな情報を受け取ったり、書きこんだりできます。見たいものを検索くしたり、アドレスを入力したりすると見られます。

『メディアリテラシー』
 メディアが伝えるたくさんの情報の中から必要な情報を自分で選び出し、活用する能力や技能をいいます。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題

社会【小5】1月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
5 わたしたちの生活と環境 1 わたしたちの生活と森林	<p>★我が国の森林資源の働きや、育成や保護の取り組みの様子に関心をもって調べ、国土に広がる森林が国土の保全や水資源の涵養などに重要な役割を果たしていることや、森林の育成や保護に取り組む人々の工夫や努力を理解するとともに、環境保全のための国民一人ひとりの協力の必要性について考えようとする。</p> <p>『世界遺産<i>いさん</i>』 世界じゅうの人々に大切にされるべき場所のことで、自然遺産<i>いさん</i>、文化遺産<i>ぶんかいさん</i>、それらの両方の複合遺産の三つに分けられます。 ・白神山地</p> <p>『国有林』 国のもっている林を国有林といいます。2005年現在、国有林の面積は森林全体のおよそ30%を占めています。</p> <p>『人工林と天然林』 人の手で植林したものを人工林、自然にできたものを天然林とよんで区別します。</p> <p>『林業』 なえ木を植えて育て、木を切って売ることを林業といいます。現在、国産の木材が見直され始めています。間ばつされた木を木材として使い、木材の自給率をあげることが求められています。</p>
5 わたしたちの生活と環境 2 環境 <i>かんきょう</i> を守る わたしたち	<p>★身の回りの生活環境や公害に関心をもち、産業の発展や都市化の進展にともなって生じた公害や、それらから国民の健康や生活環境を守る取り組みの様子を理解し、環境汚染から健康や生活環境を守るためには、企業や行政の取り組みだけでなく、わたしたち一人ひとりの努力や協力が必要なことがわかる。</p> <p>『BOD(ビーオーディー)』 川などのよごれの程度を表す値です。数字が大きいほどよごれています。</p> <p>『高度経済<i>けいざい</i>成長』 日本では、1950年代後半から約20年間、国内での生産や消費が大きくのび、国民の生活はどんどん便利になりました。その一方で、環境<i>かんきょう</i>はかいなどの問題も起こりました。</p> <p>『条例』 都道府県や市区町村状国の法律<i>ほうりつ</i>とは別につくることができるきまりのこと。地域<i>ちいき</i>ごとの人々の願いを実現するために定められます。</p>

『京都議定書』

地球温暖化[おんだんか]によって、大気や海水温が少しずつ上がり、環境[かんきょう]に大きなえいきょうがあるとされています。世界じゅうの人々で協力して地球温暖化[おんだんか]を防ぐために、まとめられた文章です。

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト

→ ②プリント(問題)

→ ③テスト

→ ④評価

→ ⑤課題

京都市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

工業と公害

1 公害が起こったわけ

工業の発達にともなって、工場から大量の有害物が出されましたが、じゅうぶんな注意がはられませんでした。

2 いろいろな公害

● 自然のよごれ
工場からの有害な煙や排水などが、空気や水や土をよごし、自然のはたらきをこわします。

● そう音など
工場や車・飛行機などによる、うるさい音や家などのゆれは、人間の生活環境をみだします。

3 公害をなくす努力

被害を受けた人々を中心にして、公害をなくす運動が広まりました。その後、市や県・国・工場などが、公害をなくす対策を立てました。

※ 資料 社会学テキスト 小53学期 1月 わたしたちの生活と環境 66

- 18 -

京都市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

地球かんきょう問題 (1)

オゾンホール

高さ10～50kmにあるオゾンという気体の層は、日光の中にふくまれる有害な紫外線を取りのぞくはたらきをするが、人間が使用するフロンガスが、このオゾン層をこわしてしまう。

この、こわされてオゾンのうすくなった所をオゾンホールという。

地球の温暖化

石油、石炭、天然ガスなどのたくさんの化石エネルギーを使うにつれて、大気中の二酸化炭素がふえて、地球の温度があがり、南極などの氷がとけて、海面があがる。

酸性雨

自動車や工場の排出ガスにふくまれる物質が、硫酸や硝酸となり、雨にとけてふってくる現象で、土を酸性にかえたり、森林をからしたりする。

※ 資料 社会学テキスト 小53学期 1月 わたしたちの生活と環境 66

- 48 -

京都市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

四大公害病

◆ 水俣病

熊本県水俣市
有機水銀をふくむ工場排水が原因。

◆ イタイイタイ病

富山県神通川流域
水田などにたまった有害物が原因。

◆ 四日市ぜんそく

三重県四日市市
亜硫酸ガスを含む煙などが原因。

◆ 新潟水俣病

新潟県阿賀野川流域
水俣病と同じ症状なので、第二水俣病ともよばれています。



※ 資料 社会学テキスト 小53学期 1月 わたしたちの生活と環境 66

- 28 -

京都市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

地球かんきょう問題 (2)

地球の砂漠化

森林を焼きはらって農業をしたり、道路や建物を新しく建設したり、日本をはじめとする先進工業国が、木材を輸入したりして、熱帯林がへりつづけている。

熱帯林は一度切ると、二度とはえることがむずかしいので、土地がどんどんあれていって、砂漠になってしまう。

琵琶湖のよごれ

毎日のくらしで使われる合成洗剤にふくまれている、チッ素やリンが、生活は水として琵琶湖に流され、プランクトンを大量に発生させた。



※ 資料 社会学テキスト 小53学期 1月 わたしたちの生活と環境 66

- 58 -

京都市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

わが国の森林と森林のはたらき

1 わが国の森林

わが国の国土の約3分の2は森林である。

2 森林のおもなはたらき

① 自然災害をふせぐ
なだれ、強風、こう水、土砂くずれなどの災害をふせぐ。

② 空気をきれいにする
二酸化炭素を吸収し、酸素を出す。

③ 水をたくわえる
自然のダムのはたらきをする。

④ 健康によい
木から発する物質(フィトンチッドなど)の作用。

3 森林の保護

森林を守るために、定期的な間伐が必要な場合がある。



※ 資料 社会学テキスト 小53学期 1月 わたしたちの生活と環境 66

- 38 -

京都市日本語・ポルトガル語通訳指導教員

酸性雨のひ害

酸性雨のえいきょうで、森の木がかれてしまったり、銅像の表面がとけ出したりしている。



(提供: 佐竹研一氏)



(提供: 門倉武夫氏)

※ 資料 社会学テキスト 小53学期 1月 わたしたちの生活と環境 66

- 88 -

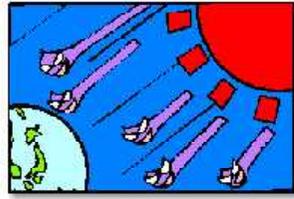
社会【小5】2月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』	S3 中級 S4 上級
5 わたしたちの生活と環境 3 自然災害を防ぐ	<p>★我が国における自然災害やその防止の取り組みの様子に関心をもって意欲的に調べ、我が国の国土では自然災害が起こりやすく、国や都道府県などが様々な対策を進めていることや、国民一人ひとりが協力したり防災意識を高めたりすることが大切であることを理解し、防災のための自分たちの取り組みについて考えようとする。</p> <p>【用語】 地震[じしん] 噴火[ふんか] 台風・こう水 大雪</p> <p>『土石流』 一度にたくさんの雨がふって、土砂[どしや]が水といっしょにいきなり斜面[しやめん]を下る現象です。大きな被害[ひがい]が出ます。</p> <p>『防災』 1960年ごろまで、1000人以上の命が失われる大災害がひんぱんに起きていましたが、防災のための工事などをずっと行ってきたことによって、大きな被害[ひがい]の出る災害が、減ってきています。</p> <p>『復旧作業』</p> <p>【用語】 公害－『四大公害病』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水俣病[みなまたびよう](熊本[くまもと]・鹿児島県[かごしまけん]) ・イタイイタイ病(富山県) ・四日市ぜんそく(三重県) ・新潟[にいがた]水俣病[みなまたびよう](新潟県[にいがたけん]) 	

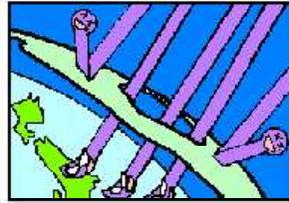
【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題



や 野鳥の観察.GIF



し し外線.GIF



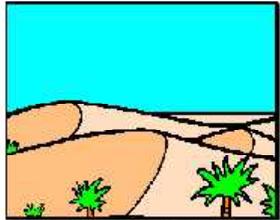
オ オゾンそうのはかい.GIF



や 焼き畑・森林のはかい.GIF



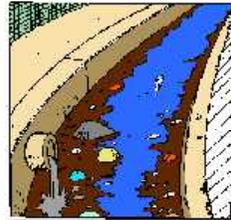
オ オジロフシ.GIF



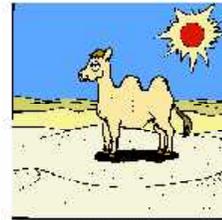
さ さばく化.GIF



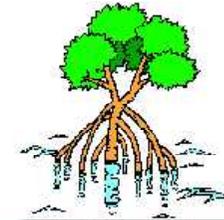
さ さんせい雨.GIF



か 川のよこれ.GIF



さ さばく.GIF



マ マングローブ.GIF



空き缶のリサイクル2.jpg



交通混雑(東京).jpg



自転車置き場に悩む都心(東京).jpg



騒音値測定(渋谷).jpg



太陽光発電の研究(千葉県).jpg



電気自動車.jpg



都会の中の煙.jpg



二酸化窒素値測定(渋谷).jpg



ゴミ処理場(夢の島).jpg

社会【小5】3月 ユニット・『指導語彙・表現』テキスト, プリント

ユニット	指導内容 『指導語い・表現』 S3 中級 S4 上級
◎ 世界とつながる日本	<p>【用語】 アジア州の国々 アフリカ州の国々 ヨーロッパ州の国々 北アメリカ州の国々 南アメリカ州の国々 オセアニア州の国々</p> <p>【用語】 主な貿易品目 自動車 鉄鋼[てつこう] プラスチック 集積回路 自動車部品 精密[せいみつ]機械 内燃機関 船舶[せんぱく] VTR コンピューター 二輪自動車 原油 液化天然ガス 衣類 魚かい類 医薬品 肉類 木材 野菜</p>

【指導の流れ】 ①語彙・表現・テキスト → ② プリント(問題) → ③ テスト → ④評価 → ⑤課題



